

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2021年3月号

- ◇ 【 バンコク通信 】～隣国ミャンマーのクーデターの影響について～・・・P. 1
- ◇ 【 シンガポール通信 】～取引先インタビュー「IMEI (EXIM) Pte. Ltd.」様～・・・P. 3
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】・・・P. 5
- ◇ 【 アセアン各国株式市場・為替情報 】2021年2月の動き・・・P. 7
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】・・・P. 8
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】2021年3月～2021年5月・・・P. 9
- ◇ 【 めぶきアジアネットワークのご紹介 】・・・P. 10

常陽銀行シンガポール駐在員事務所

63 Market Street #11-03
Bank of Singapore Centre,
Singapore 048942
TEL:65-6225-6543

常陽銀行ハノイ駐在員事務所

5th Floor, Sun Red River,
23 Phan Chu Trinh Street,
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

足利銀行バンコク駐在員事務所

689, Bhiraj Tower at EmQuartier,
27th Floor, Room No. 2714,
Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana,
Bangkok 10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



バンコク通信～隣国ミャンマーのクーデターの影響について～

タイの隣国ミャンマーでは、ミャンマー国軍が2021年2月1日、全土に非常事態を宣言し、国家の全権を掌握したと表明しました。そこで今回は、クーデターの背景とタイからみた影響についてレポートします

1. クーデターの背景

クーデターの背景は、2020年11月の総選挙でアウン・サン・スーチー氏率いるNLD(国民民主連盟)が圧勝しことにより、ミャンマー国軍の危機感が高まったことといえます。

NLDとミャンマー国軍は歴史的にも対立が続いてきました。2020年11月の総選挙においても、ミャンマー国軍は二重投票など選挙不正を指摘していましたが、政府や選挙管理委員会の対応に進展が見られない状況が続いたため、2021年2月1日に予定されていた連邦議会の開催初日にクーデターが実行されました(表1)。

ミャンマーの現行憲法では、ミャンマー国軍に憲法改正に必要な総議席数の25%が割り当てられることになっており、選挙結果に関係なく国軍が政治的な関与を維持できる状況に変わりはありません。しかし世論に押され国軍関係議員の影響力が低下した際は、この先NLD主導によるより民主的な憲法改正が成立してしまうとの懸念が国軍の行動に影響していると思われます。

2. タイにおけるクーデターに対する反応

タイ政府は、今回のクーデターに対しアセアンの「内政不干渉」の原則に基づき静観の構えを示しております。

一方で首都バンコクでは、タイ在住のミャンマー人らが集結し拘束者の解放や民主主義体制の維持を求めた抗議集会が行われています(写真)。最近では、タイの王室改革を求めるグループと同じ会場に集結して集会を行うなど、反政府運動に対する国境を越えた連携もみられています。

ミャンマー人の若者の間では、クーデターの抗議に関し会員制交流サイト(SNS)を通じ、香港やタイの抗議活動と連携する動きが強まっています。このSNSを通じた国境を越えた活動は、独裁や権威主義に共闘する意思を示しており、今後も強まっていきそうです。

【表1：これまでのミャンマーの動き】

1962年	軍事クーデター
1988年	アウン・サンスーチー氏、民主化運動参加
1990年	総選挙でNLDが圧勝、軍政は結果受け入れを拒否
2010年	総選挙で国軍系政党勝利、NLDはボイコット アウン・サンスーチー氏、7年半ぶり自宅軟禁解除
2015年	総選挙でNLD圧勝、翌年に事実上のスーチー政権発足
2020年	総選挙で再びNLD圧勝
2021年	2月1日国軍がクーデター、全権掌握 NLD幹部が拘束される 行政評議会を設置 各地でデモ発生

(出所：報道資料を基に筆者作成)

【写真：国連バンコク事務所前の

抗議集会の様子】



(筆者撮影)

3. タイへの影響と民間企業の反応

ミャンマーのクーデター発生を受けタイ経済界は、隣国としてつながりが強いことから、二国間貿易の動向を注視している状況です。また、貿易取引だけでなく民間企業の投資意欲が減退するとの見方も広がっています。

ミャンマーにとってタイは、輸出先として第2位、輸入先として第3位の貿易相手国として非常につながりが強い国です。また貿易取引は、陸路の国境貿易が8割を占めているため、今後の国境検問所の運営に懸念を示す声も上がっています。

また、2020年度のミャンマーの海外直接投資国としてタイは第4位(認可額33百万米ドル)であるほか、タイの上場企業最大の投資国はミャンマーです。タイ証券取引所(SET)上場のミャンマー関連銘柄は、クーデター発生直後に一部銘柄に下落がみられたものの総じて大きな変動はなく、今のところタイ金融市場への影響は軽微だった模様です。

しかし個社別の報道でみると、タイ企業に限らず日系企業においてもプロジェクトの一時中断や、工場の操業停止、投資方針の変更など影響が出始めています(表2)。現状では欧米諸国などがミャンマーに対し経済制裁を加える懸念もあり、この先ミャンマー経済が減速した場合は、海外からの投資が縮小することも想定されます。

【表2：民間企業の反応】

アマタ・コーポレーション(タイ工業団地運営会社)	クーデター発生を受けて、ヤンゴン郊外で開発を進めているプロジェクトの建設工事を一時中断する方針を発表 日系企業中心に約20社誘致
スズキ、味の素、デンソー他日系企業	クーデター発生を受けて、工場の操業を停止。2月は、治安状況を考慮しながら工場再開と停止を繰り返す。
キリンHD	ミャンマーでのビール事業に関し、国軍系企業との合併を早期に解消すると発表

(出所：報道資料を基に筆者作成)

4. 今後の見通し

ミャンマーは、新型コロナウイルス感染症の流行で経済的に打撃を受けているため、外貨獲得や雇用創出を目的とした外国企業誘致を強化する政策を打ち出すと思われます。しかしながら、欧米を中心とした海外からの厳しい目が、外国企業による今後の生産活動や投資意欲を後退させる可能性が高く、その動向を注視する必要があります。

隣国ミャンマーで起きたクーデターですが、現時点でタイ国内金融市場及びタイ進出日系企業等を含めた経済活動に大きな混乱は生じておらず、影響は限定的と言えます。そのため、タイの生産活動におけるインフラやサプライチェーンのアセアン諸国内での優位性は維持される見込みです。一方、ミャンマーでの民主化運動に影響を受け、再び若者層による王室改革や憲法改正を求めた反政府集会の機運が高まり、デモによるタイ経済の減速につながる可能性が懸念材料として考えられています。

【足利銀行バンコク駐在員事務所 所長 酒井 康行】

シンガポール通信～取引先インタビュー「IMEI (EXIM) Pte. Ltd.」様～

シンガポールはアジアトップレベルの富裕層が旺盛な消費を生み、コロナ禍にあっても段階的な経済活動の緩和により、2021 年は小売りや飲食など消費者向けサービスの回復が見込まれています。

今回はシンガポールで食品輸入卸売業として事業を展開する「IMEI (EXIM) Pte. Ltd.」様に、シンガポールで販売するために、日本の加工食品に求められる工夫や、コロナ禍での現地の最新消費動向についてインタビューした内容を紹介いたします。

企業概要

- 企 業 : IMEI (EXIM) Pte. Ltd.
- 所 在 : No. 3 Kaki Bukit Road2, #01-04, Eunos Warehouse Complex, Singapore 417837
- 設立年月 : 1981 年 8 月 (※2011 年 12 月にカメイ株式会社の完全子会社となる)
- 事業内容 : 食品輸入卸売業
- 従業員数 : 45 名
- 強 み : ・常温、冷蔵、冷凍の 3 温度帯の自社物流を有し、月～土で自社配送を行う
 ・業務用・小売用食材 1,800 商品超を取り扱う
 ・主な取り扱い商材は日本食材 (調味料、加工食品、水産品、和牛、米)

【IMEI (EXIM) Pte. Ltd. 外観とインタビューに答える松崎氏】



※ご多忙中ご協力いただきまして誠にありがとうございました！！

シンガポール市場の特徴は？

シンガポールは多民族国家であり、一つのテイストが受け入れられる訳ではなく、多様な人種に合った様々な食べ物や味付けが好まれます。最近では、ハラルに対する要求が非常に多くなってきています。また、砂糖摂取量の多い国であるため、砂糖摂取を抑制しようと国を挙げての是正キャンペーンが進んでおり、健康志向が高まっています。

シンガポール市場の優位性は？

一番優位な点は関税が無いということです。日本から輸出すると物流費などで、ある程度価格は高くなってしまいますが、関税がかからない分、他国に比べリーズナブルな価格で店頭に並べることができます。販路開拓という点でも、関税がないことはシンガポールの魅力の一つだと思います。

コロナ後の市場の変化は？

シンガポールでは昨年4月上旬から2ヶ月半ほどの外出制限があり、飲食店内で飲食が出来ない時期がありました。そうした中、デリバリーやテイクアウトといった需要が旺盛になった印象があります。また、巣ごもり需要の高まりから、小売店も好調だったと感じています。外出制限が終わった今では、小売需要は少しずつ減退していますが、コロナ前に比べれば好調な状況は続いています。

輸出時の注意点は？

加工食品では、原材料に甘味料のサッカリンやステビアを使用したものは、シンガポールに輸入できません。また、着色料の赤の3桁台を使用した食品やレトルト食品（レトルトカレーやカップ麺）に多く使用されている固形肉を使用した加工食品も輸入できないので注意が必要です。

これからの動きとして、シンガポール食品庁から2021年6月以降PHOS（部分水素添加油脂）を使用している加工食品の輸入が禁止される旨、発表されています。PHOSは冷凍コロッケなどに使用されていますので、今後はPHOS対応も重要な課題となってきます。

販売を成功させるために必要な工夫は？

お客様と小売店へ商品紹介に行った際、バイヤーから「英語表記がない」、「中身が見えないため商品がわかりにくい」など、パッケージに関する指摘が多いと感じます。日本語表記だけのパッケージではなく、一部でも英語表記を追加することで、消費者に対してこの商品が何なのかイメージしやすくするパッケージの工夫が必要です。

シンガポールでは、日本産食材は一通り普及していてこれから選別されていくようなステージに入ると想定されますので、ニッチな商品・付加価値のある商品をご紹介しますとありがたいです。

商談時の注意点は？

商談時はバイヤーへ価格提示することが重要です。価格という軸がないと、ふわっとした商談になる傾向が多いです。価格提示があることで、バイヤーとしても「美味しい上に、この価格ならやってみよう」といったように商談が早く進むケースもありました。そのため見積書の作成は、商談をスムーズに進めるための必要な項目と考えます。

弊社でも、シンガポールドルでの見積作成が可能ですので、ご興味のある企業様のございましたらご相談いただけますと嬉しいです。

3. おわりに

現在、新型コロナの世界的な流行で海外現地での営業が出来ない状況です。海外現地の市場調査、マーケティングをはじめ、海外販路開拓をご検討のお客様は、IMEI様との連携も含め、お気軽にご相談ください。

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

アセアン駐在員コラム

アセアン駐在員コラムでは、東南アジア各国で生活している駐在員や現地スタッフからの情報を発信しています。



【シンガポール】～「国民の食卓」が無形文化遺産に～

シンガポールの食文化の中心に、中華・インド・マレーなど各国料理の屋台が集結した屋台村「ホーカーセンター」があります。

シンガポール国民の8割以上が週1回以上通っており、国民の食卓として根付いてきました。食費が高いシンガポールですが、ホーカーセンターの料理は4Sドル（約320円）程度からとリーズナブルで、仕事帰りにも気楽に立ち寄ることが出来ます。

シンガポールを象徴する「ホーカー文化」が、昨年12月、ユネスコから無形文化遺産に認定されました。多文化主義の象徴や国家のアイデンティティを支えるものとして、国民から親しまれるホーカーが文化遺産に認定されたことは、明るいニュースとして話題になりました。コロナ禍においても国民の食卓を支えたホーカー文化の保護と後世への継承に向けた取組みが、益々注目を集めています。

（常陽銀行シンガポール駐在員事務所 現地スタッフ 関 順）

【ホーカーで食事をする人々】



（筆者撮影）



【ベトナム】～ベトナムのゴミ事情～

ベトナムでは家庭ゴミの一般的な捨て方として、生ゴミなどの生活ゴミをビニール袋にまとめて好きな時間に家の前に置いておけば、どこからともなくやってきた清掃員が回収していきます。日本との大きな違いは、ゴミの分別という概念がないことが挙げられます。また政府や自治体指定のゴミ袋やゴミの回収日時なども決まっていません。

ベトナムでは「ポイ捨て」は日常的で、街の至る所で「ポイ捨て」が見受けられます。そのため清掃員は、家庭やオフィスのゴミを回収すると同時に、街の清掃も兼任しています。

夜になるとどこからともなく清掃員が現れ街中の清掃を始めるのですが、そのおかげで翌日の朝には街はすっかり綺麗な状態になっています。それでも路上からゴミが消える事がないため、行政も「ポイ捨て」多発地域に監視カメラを設置するといった対策を計画しているようです。

（常陽銀行ハノイ駐在員事務所 現地スタッフ グエン ティ トウイ）

【街を掃除する清掃員】



（筆者撮影）



【タイ】～タイに広がる日本食レストラン～

タイの外出産業では、コロナ禍の景気低迷期においても日本食は好まれ、人気を維持しています。

JETRO バンコクが実施した 2020 年度タイ国日本食レストラン調査では、新型コロナウイルスの影響を受け閉店や休業店舗数が調査以来最多となりましたが、すし店などの新規出店が地方を中心に増加し差引で前年比+457 店舗となりました。

健康志向が高まるタイでは、和食が持つヘルシーというイメージがマッチし、幅広い層のタイ人が日本食を食するようになったといえます。また日本食レストランや居酒屋では、メニューにタイ語を併記するだけでなく、会員制交流サイト(SNS)によるアナウンスメント効果を意識した集客も強化されています。

【新規出店の日本食レストラン】



(筆者撮影)

(足利銀行バンコク駐在員事務所 所長 酒井 康行)



【フィリピン】～園芸農業 ～マニラ首都圏～

最近マニラ首都圏では、野菜や花の栽培を始める世帯が増えてきています。その背景は、新型コロナウイルスの感染拡大により、自宅で家族と過ごす時間が増えてきたためと言われています。自宅に隣接する空き地などを利用し、好きな作物を栽培し、親戚や近所の人に配るといった光景が増えてきているようです。

都心から 10 キロほど離れたフィリピン人夫婦の家を訪ねてみると、青々としたチンゲンサイがたくさん栽培されていました。実はこの畑は、子供たちの遊具が置いてあった庭を改良したとのこと。「今後は何を栽培する予定ですか？」と旦那さんに質問すると「ひまわりを育てて、妻の誕生日にプレゼントしたい」との回答でした。フィリピン人らしい素敵なコメントに、心が和やかになりました。

【畑仕事する夫婦】



(筆者撮影)

(BDO ユニバンク マニラ駐在 鶴見 圭史)

アセアン各国株式市場・為替情報（2月）

アセアンの株式・為替市場の動向について（2月）

国	株式市場			為替市場				
	株価指数	月末株価	月間騰落額	月間騰落率	通貨単位	月末為替レート(円)	月間騰落額	月間騰落率
シンガポール	ST指数	2,949.04	46.52	1.60%	1シンガポールドル	79.96	1.14	1.45%
マレーシア	KLCI総合指数	1,577.75	11.35	0.72%	1リンギット	26.22	0.34	1.33%
タイ	SET指数	1,496.78	29.80	2.03%	1バーツ	3.50	0.00	▲0.05%
フィリピン	フィリピン総合指数	6,794.86	182.24	2.76%	1ペソ	2.18	0.01	0.43%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	6,241.80	379.44	6.47%	100ルピア	0.75	0.00	0.29%
インド	SENSEX指数	49,099.99	2,814.22	6.08%	1ルピー	1.45	0.01	1.02%

出所：Bloomberg

【株式市場】

- **シンガポール**： 月中はもみあう展開も、主力金融株は堅調

景気回復期待や米国株上昇によりリスク選好意欲が強まるも、新型コロナの市中感染確認を嫌気しもみあう展開。政府支援策が公表された航空関連や決算が好感された金融株は堅調に推移した。シンガポール ST 指数は前月比 1.60%で取引を終了した。

- **マレーシア**： 優良株が指数を牽引も、活動制限令が重荷に

エネルギー株とゴム手袋メーカー株の上昇やワクチン接種への期待感から買い優勢の展開。米株高や世界経済回復期待から続伸も、活動制限の延長報道が嫌気され反落。下旬は、企業の 4Q 決算が好感され反発しマレーシア KLCI 指数は前月比 0.72%で取引を終了した。

- **タイ**： 大規模デモが不安材料も、エネルギー株が指数を牽引

中国株や米国株、原油先物価格の上昇が買い材料視され上値を広げる展開。中旬は、大規模な民主化デモを嫌気し反落、パーツ安の影響もあり続落した。下旬は、エネルギー株が指数を牽引するなど、タイ SET 指数は前月比 2.03%で取引を終了した。

- **フィリピン**： 景気回復鈍化や活動制限の延長が重荷に

上旬は世界的な株高に追随する形で大幅上昇。上昇後は利益確定売り優勢の展開。また国内景気回復鈍化懸念から投資家心理悪化し下落基調。活動制限の延長が嫌気されるなど続落し、フィリピン総合指数は前月比 2.76%で取引を終了。

- **インドネシア**： GDP 発表も影響は軽微、外部要因の影響を受ける

5日発表された 4Q の GDP が市場予想を下回ったものの影響は軽微で上昇基調で推移。米株高の流れを受け買い優勢で展開するも、米長期金利上昇を背景にしたルピア安が懸念され反落。下旬は、世界経済回復期待から投資家心理が改善しジャカルタ総合株価指数は前月比 6.47%で取引を終了。

- **インド**： 景気対策重視の予算を好感し、連日の最高値を更新

1日急騰。景気対策を重要視した 2021 年度予算の公表を受け投資家心理が強気に傾き、連日で史上最高値を更新するなど一時 52,000pt を突破。しかし、下旬には米長期金利の高止まりで投資家心理が悪化し大幅下落するなど荒い値動きとなった。インド SENSEX 指数は前月比 6.08%で取引を終了した。

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

アセアン各国ニューストピックス

◎経済

- シンガポール
 - ・20年通年のGDPを上方修正 21年4~6%増、ワクチン普及で (2/16)
 - ・21年度予算案、歳出は過去最大 赤字額は約6分の1に縮小 (2/18)
 - ・観光業、21年は緩やかに回復 政府後押し、国際会議にも期待 (2/25)
- マレーシア
 - ・20年の輸出額、1.4%減 貿易黒字は3割増、コロナ打撃も (2/2)
 - ・20年GDP、5.6%減 リーマン以来のマイナス成長に (2/15)
 - ・コロナ禍が一部業種に追い風 20年黒字予想5割、日系企業調査 (2/23)
- タイ
 - ・20年の投資・FDIは2桁減 コロナ禍で明暗、国別は日本首位 (2/12)
 - ・20年のGDP成長率6.1%減 99年以降で最低、4Qは4.2%縮小 (2/16)
 - ・自動車生産、1月は5%減 コロナ第2波で国内市場向け不振 (2/19)
- インドネシア
 - ・コロナ予算、前年比19%増に 再度上方修正、保健分野は2.7倍 (2/17)
 - ・投資規制分野を大幅改定 制限緩和、雇用創出法の細則で (2/24)
- フィリピン
 - ・22年までのGDP成長率目標引下げ 経済開発庁、コロナで6.5~7.5% (2/5)
 - ・20年FDI認可額71%減 過去最大の下落、コロナ打撃 (2/26)
- ベトナム
 - ・越経済、人出でプラス成長 消費と生産けん引、楽観は禁物 (2/19)
 - ・メコン諸国、対中国で温度差 一帯一路で後発国は「親中」進む (2/22)
 - ・主要上場、20年は業績横ばい 資源や運輸に打撃、4Q回復も (2/24)

◎その他

- シンガポール
 - ・3ヶ国との短期出張往来、感染増で一時停止 (2/1)
 - ・日系企業の2割、日本人従業員削減の見通し (2/16)
 - ・隔離型宿泊・会議施設が開業 世界初、出張者受け入れ促進へ (2/19)
- マレーシア
 - ・3月に登校再開、5ヶ月ぶり 長引く休校で私立では退学者増加 (2/22)
 - ・新型コロナワクチン接種開始 首相が第1号、安全性をアピール (2/25)
- タイ
 - ・大気汚染、焼き畑の改善必至 国連調査、影響は車の排ガス以上 (2/10)
 - ・閣僚10人の不信任案が否決 反体制派は反発、国会前でデモ (2/22)
 - ・コロナワクチンの第1弾到着 中国と英国製、近く13都県で接種 (2/25)
- インドネシア
 - ・小規模単位の活動制限を導入 ジャワとバリ、経済規制に緩和も (2/9)
 - ・大統領の満足度62%に低下、16年以来低水準 (2/11)
- フィリピン
 - ・ワクチン優先接種、対象選定 まず医療従事者、2月中旬から (2/8)
 - ・邦人殺害容疑で少年ら逮捕、生活苦で金品狙いか (2/22)
- ベトナム
 - ・市中感染238人、2大都市も テト休暇前に防疫徹底、隔離21日 (2/1)
 - ・波乱の連休、入国の邦人死亡 各地で感染増、隔離15万人超に (2/17)
 - ・初の新型コロナ輸入ワクチン、28日に到着 (2/19)

(出所：各種新聞、雑誌)

アセアン・インド休日情報

2021年3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 MM	3	4	5	6
7	8 CD	9	10	11 IN	12	13
14 IN	15	16	17	18	19	20 JP
21	22	23	24	25	26 MM	27 MM
28	29 MM	30 ID	31			

2021年4月

日	月	火	水	木	金	土
				1 PH	IN 2 ID SG PH	3 PH
4	5	6 TH	7	8	9 PH	10
11	12	13 TH	14 MM CD TH MM	15 CD TH MM CD	16 MM	17 MM
18 MM	19 MM	20	21 VN ID	22	23	24
25 ID	26 CD	27	28	29 JP	30 CD VN MM	

2021年5月

日	月	火	水	木	金	土
						PH IN VN MM 1 CD SG MY TH
2	3 VN JP TH	4 JP TH	5 JP	6	7	8
9	10	11	12	PH 13 SG	IN CD 14 MY ID MY	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 MM	ID 26 SG MY TH	27	28	29
30	31					

※ナショナルホリデーのみ掲載
※祝祭日名省略

出典：ジェトロ各国情報等

- JP 日本
- MY マレーシア
- TH タイ
- SG シンガポール
- PH フィリピン
- VN ベトナム
- IN インドネシア
- MM ミャンマー
- ID インド
- CD カンボジア

めぶきFGアジアネットワーク

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

